

一般公開プログラム (入場無料・申込不要)

地域を支える多文化人材のキャリア

パネリスト: 青晴海氏 (島根大学), 小菅扶温氏 (ヒューマンサポートジャパン),
村谷エレナ氏 (フジアルテ), 岩崎美保子氏 (しまね国際センター),
進行: 仙田武氏 (しまね国際センター), 土井佳彦 (日本語教育学会社会啓発委員会)

2019年

11月23日(土)・24日(日)

島根県立産業交流会館

くにびきメッセ (島根県松江市学園南1-2-1)

後援: 松江市

お申込み方法・料金 ◆大会参加費:【事前登録 ※登録完了後、予稿集がダウンロードできます】会員 3,500円/会員(学生証をお持ちの方)2,000円/会員でない方 5,000円【当日受付】一律 5,000円 ◆懇親会費:【事前登録】一律 3,500円 ◆事前登録期間:2019年10月16日(水)~11月15日(金) ◆学会ホームページ (<http://www.nkg.or.jp/>) 上の「マイページ」からお申込みください。

お問合せ先 TEL: 03-3262-4291 / E-mail: taikai-office@nkg.or.jp (前日12時まで) / TEL: 090-1999-3315 (当日のみ)

日本語教育学会秋季大会

大会日程 (概要)

23日(土)

- 10:00 一般公開プログラム (9:30 受付開始)
- 12:00 各種企画
- 13:00 開会式
- 13:45 交流ひろば
- 14:00 パネルセッション (第1部/第2部)
- 17:30 懇親会

24日(日)

- 9:00 代議員懇談会
- 9:30 口頭発表 (午前の部)
- 10:50 ポスター発表 (第1部)
- 12:10 各種企画
- 12:40 ポスター発表 (第2部)
- 13:30 口頭発表 (午後の部)
- 14:30 ポスター発表 (第3部)

大会受付, 賛助会員出展ブース

- 23日(土) 12:00-17:00
- 24日(日) 8:45-15:00

大会サイトは
こちら➡



大会プログラムは
こちら➡



企画プログラム

一般公開プログラム (入場無料・申込不要) ㊦

今大会では、「地域を支える多文化人材のキャリア」に焦点を当てて議論します。

賛助会員出展ブース (入場無料・申込不要) ㊦㊧

本出展ブースでは本会の賛助会員専用のブースを設け、各団体の紹介や最新情報の発信、書籍、教材等の展示をします。最新の書籍等を手にとって見られる絶好の機会です。また、参加者間のネットワーク作りの促進、日本語教育及び関連領域の情報提供、情報交流等の一助になればと考えています。

チャレンジ支援企画 ㊦㊧

大会会場で「わかばさん」にぜひお勧めしたい3つの特別プログラムを用意しました。非会員も大歓迎です。

①素朴な疑問にお答えする「わかば・コンシェルジュ」②初めて参加する方向けに大会内容をダイジェストで紹介する「わかばさんいらっしゃい」③みなさんの先を歩いているセンパイとの対話の場「ぷらさ da わかば」

交流ひろば ㊦

「交流ひろば」では、出展者の教育実践や研究の紹介・共有、そして参加者との情報・意見交換が行われます。同じ興味や問題意識を持つ同士がネットワークを拡げることを目的とした企画です。ぜひ、一度足を運んで意見・情報交換に参加してみてください。

地域発信企画 ㊦

「地域で生きる人々のライフコースに寄りそい支えるための取り組み」(入場無料・申込不要)

今年の地域発信企画のテーマは「地域で生きる人々のライフコースに寄りそい支えるための取り組み」です。島根県内で日本語教育に関わる方々が、多様な背景を持つ外国人住民を対象に行っている実践や活動を、資料、実物などを通して紹介します。皆様との活発な情報交換、意見交換を期待しています。ぜひご参加ください。

研究倫理セミナー: 研究とその指導に必須の注意事項 ㊦

研究とその指導の注意事項について意識化することを目的とした企画です。まず、調査研究のためのデータ収集、学会発表、論文作成・投稿などの研究倫理について情報提供します。次に、学部・大学院生の指導者が留意すべき点、ハラスメントの危険性などについて問題提起します。その後、参加者全体で意見交換を行います。

すっきり! 「日本語教育推進法」のポイント解説! ㊦

2019年6月21日に成立した「日本語教育推進法」について、ポイント解説をします。聞いたことはあるけれど内容がよくわからない、知りたいけれど話を聞く機会がない、という皆様、ぜひご参加ください。

国際交流基金による外国人材受入のための事業説明 ㊦

国際交流基金が本年4月の入管改正法施行に伴い開始した「国際交流基金日本語基礎テスト (JFT-Basic)」を中心に、日本語教育支援事業や新規派遣事業、教材開発など、海外における日本語教育基盤の充実に向けた新たな取り組みをご紹介します。



公益社団法人

日本語教育学会